

みなさん、おはようございます。

明日から、夏休みということで、少しお話をする時間をいただいたので聞いてください。

私の高校時代3回の夏休みで強烈に印象に残っているのは、部活と予備校の夏期講習です。高校1年生の夏は、お盆の3日間以外は全て部活でした、練習試合、合宿、等々、それ以外の思い出は残っていません。高校3年生は、大学受験に向け、東京まで夏季講習に通いました。40年前、千葉にはまだ予備校などなく、東京に集まってくる受験生がすべて優秀に見え劣等感をひしひしと感じたことを覚えています。

今年は校長として、皆さんには、親族や家族とゆったりとした時間を持ってほしいと考えています。

部活だ、勉強だは、当たり前で、それを疎かにしろということではありませぬ、プラスアルファで親族や家族と、お盆だったり旅行であったり何でもいいので、ゆっくりと話ができる時間を作ってください。親や家族、親族などの血のつながりがある人は本当にみなさんのことを真剣に大事に考えていることがわかると思います。是非お願いします。

さて、話は変わりますが、私の悲しい思い出を一つ紹介します。

ある学校でのできごとです。私は妻と娘の三人で夏休みの終わりに東北に旅行に行った帰りの出来事です。

車で行き、携帯電話は持っていたのですが、カバンに入れたままでの帰り道、携帯を見ることもなく家につきました。荷物を車から移し替え、一息ついて携帯を見たとき、数えきれない着信やメールがありました。

どれもが、勤務していた学校関係者からのもので・・・

折り返し、電話してもなかなか繋がらず、やっと繋がった相手から出た言葉は・・・

剣道部の生徒が、海で溺れて救急車で搬送された、近くの〇〇病院へ搬送されているようだ、詳細は不明とのこと。

すぐに病院に駆け付けたが、情報は混乱していて、息を吹き返したとか、ダメだったとか、そのうち警察から該当生徒の担任と部活顧問は警察の刑事課へ来るようにと連絡があり、警察へ行ってみると、普段の学校での生活はどうであったか等を聞かれました。警察はいじめとの関係を否定するための証言を取りたかったとのことでした。

結局、生徒は溺死で一緒にいた生徒たちも彼を助けようとしたのですが、それもかなわ

ず・・・

学校にはカウンセラーも配置され、関係した生徒たちの心のケアや、葬儀等で大変な数週間を過ごしました。

その後、何度か溺死した現場に行きましたが、立ち入り禁止で遊泳禁止の堤防です。

高校3年生、これからというときに命が絶たれた若者、なんで立ち入り禁止のところへ、

顧問として、教師として、大人として悔やまれた悲しい思い出です。

この夏休み、こんなことが起きないように、くれぐれも注意をしてください。

最後に、8月29日に全員がこの集会で会えることを楽しみにしています。